

ミニ・ディスクロージャー誌

平成27年3月期 営業のご報告

2015



Contents

- 1 千葉銀行のプロフィール
 - 2 ちばぎんグループのご紹介
 - 3 頭取インタビュー
 - 6 第12次中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」
 - 7 ダイバーシティの推進
 - 9 「地方創生」へ向けた取り組み
 - 11 ちばぎんグループNEWS
 - 13 ちばぎんグループのCSR
 - 15 平成27年3月期 業績のご報告
 - 17 金融円滑化に向けた取り組み
 - 18 株式の状況
 - 19 連結財務諸表(要約版)
 - 21 単体財務諸表(要約版)
- 裏表紙** ちばぎんネットワーク

千葉銀行のプロフィール(平成27年3月31日現在)

設	立	昭和18年3月
拠	点	国内 179店舗(本支店156、特別出張所5、出張所15、仮想店舗3) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 43,514か所 (うちコンビニATM「E-net」13,107か所、セブン銀行との提携による 共同ATM 19,355か所、ローソンとの提携によるATM 10,780か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 3駐在員事務所(上海、シンガポール、バンコク)

従業員数	4,256人
総資産	12兆8,900億円
預金	10兆7,333億円
貸出金	8兆4,611億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結14.66% 単体13.84%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

ちばぎんグループは、当行のほか子会社13社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しています。

証券・カード・ リース事業

- ちばぎん証券(株)
- ちばぎんジェーシーカード(株)
- ちばぎんディーシーカード(株)
- ちばぎんリース(株)

調査・ コンサルティング事業

- (株)ちばぎん総合研究所
- ちばぎんキャピタル(株)
- ちばぎんアセットマネジメント(株)
- ちばぎんコンピューターサービス(株)



ちばぎん

人材派遣・ 業務受託事業

- ちばぎんキャリアサービス(株)
- ちばぎんハートフル(株)
- (株)総武

信用保証・ 債権管理事業

- ちばぎん保証(株)
- ちば債権回収(株)

平成26年4月、グループ一体経営を迅速かつ効果的に実践していくため、全てのグループ子会社に対する「ちばぎんグループ」の持分を100%としました。



中澤 有美子さん(インタビュアー)

テレビ信州を退社後、フリーとして「JNNニュースバード」「ニュースの森」等のキャスターを務め、現在「TBSラジオ:安住紳一郎の日曜天国」等で活躍中。千葉県浦安市出身。



取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任、平成21年3月取締役頭取に就任。

地域に根差す 「リテール・ベストバンク」グループへ

ダイバーシティ経営で 強い組織を

中澤:平成26年度は頭取にとって、どのような1年だったでしょうか。

頭取:昨年度はダイバーシティ、特に女性の活躍推進に力を入れたことが印象に残っています。内閣府がサポートする「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に私が参加したこともあり、当行でも女性管理職登用に関する数値目標の公表やダイバーシティ推進部、千葉工業大学と共同運営の「千葉工大ひまわり保

育園」の開設などに取組みました。

中澤:私自身も働く女性の一人として、とても心強い取組みに感じます。

頭取:こうした取組みを地銀界全体に広げていくため、「輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会」の結成を呼び掛け、昨年11月に地銀協会員全64行の頭取が参加し、同会が発足しました。同会では、今年4月に「地銀人材バンク」をスタートさせました。これは結婚や配偶者の転勤等でやむなく転居によ

り退職せざるを得ない地銀行員に転居先近隣の地銀を紹介し、キャリア継続を支援するものです。

中澤：非常に先進的で素晴らしい制度ですね。女性の活用も含めて、ダイバーシティに積極的に取り組まれているねらいを教えてください。

頭取：ダイバーシティは「経営戦略」だと考えています。女性や外国人、障がい者など多様な人材が連携し、互いの持ち味を最大限に発揮することで、環境の変化にスピーディーに対応できる創造的な組織を創りあげていくことが大切だと考えています。

好調なスタートを切った 「中期経営計画」

中澤：平成26年度より中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」がスタートしました。初年度の進捗状況はいかがでしたか。

頭取：おかげさまで非常に好調なスタートを切ることができ、業績も計画値を上回ることができました。

中澤：千葉銀行の平成27年3月期の決算について詳しく教えてください。

頭取：連結ベースでは、経常利益が前

期比60億円増加の842億円、当期純利益が前期比105億円増加の570億円と、ともに過去最高益となりました。また、総貸出金は前期末比3,781億円増加し8兆4,611億円となり、なかでも中小企業向け貸出は前期末比2,000億円増加しました。総預金も前期末比6,115億円増加し10兆7,333億円となるなど、総じて順調に推移しています。さらに、総自己資本比率は連結14.66%、単体13.84%となり、引き続き高い健全性を維持しています。

中澤：今後の千葉銀行の戦略について教えてください。

頭取：将来を見据えた投資を積極的に進めたいと考えています。東京都心部で拠点の拡充を進めており、今年7月に「品川支店」、10月に「恵比寿法人営業所」を新設する予定です。県内でも、昨年度は「成田支店」「矢切支店」の新築移転や「市川支店」で大規模リニューアル工事を行いました。また、昨年8月にインターネット支店を開設しましたが、次世代の銀行業務の実現に向け、さらなる非対面チャネルの拡充や業務改革にも取り組んでいきたいと思えます。

「地方創生」へ 積極的な関わりを

中澤：今年度は全国で「地方創生」に向

けた取組みが加速していくと思われます。
千葉銀行では「地方創生」にどのように
関わっていくのでしょうか。

頭取：「地方創生」への参画は、これまで
で当行が行ってきた地域社会の活性化
に向けたさまざまな取組みの延長である
と考えています。当行は千葉県内に160
店舗のネットワークを持つほか、千葉県
及び県内54市町村のうち、44の自治体
で指定金融機関となっています。さらに、
グループにシンクタンクを持つ強みを活
かし、将来の千葉県の発展に真に役立
つような計画が策定されるよう積極的に
協力していきたいと考えています。

中澤：具体的にどのような動きがあるの
ですか。

頭取：営業本部長を座長とする『「地方
創生」関連部会議』を立ち上げ、行内
態勢を整備したほか、自治体へは、地
域金融機関に期待される支援分野や
サポート体制をまとめた『「地方創生」サ
ポートプログラム』を提案しています。既
に、千葉市のプレミアム付き商品券の
一部で当行のデビットカードが採用され
るなど、自治体との連携施策も生まれて
います。この他、自治体や各種機関と
地域経済活性化に向けた連携を進めて
います。

お客さまに 選ばれる銀行へ

中澤：近年の金融機関を取り巻く環境
の変化はめまぐるしいものがあると思
いますが、千葉銀行はこれからどのよ
うに進んでいくのでしょうか。

頭取：私が銀行経営で大事にしている
ことの一つに、地域の発展を第一に考
える「お客さま第一主義」があります。地
域の発展なくして当行の発展はありえ
ません。お客さまに向け、グループをあ
げて次世代の金融サービスや新たな価値
を創造し、これを提供し続けてまいり
ます。一例として、ABL(債権・動産担保融資)
や「ちばぎん知財活用融資」などを活用
し、取引先の成長や経営改善につな
げる提案を行うなど、企業の事業性評
価への取組みを強化してまいります。こ
れからもチャレンジ精神を忘れず、攻
めの姿勢を貫き、大競争時代のなか
でもお客さまに選んでいただける総
合金融グループになることを目指して
まいります。

中澤：千葉銀行の力で、私の故郷
である千葉県がもっと活性化し、さ
らに元気になるよう期待しています。

頭取：ありがとうございます。これ
からもグループの全役職員が地域社会
の持続的な成長に貢献していくよう
全力を尽くしてまいります。

ベストバンク2020

価値創造の3年

2014.4.1～2017.3.31

「お客さま第一主義」により最高の価値を提供するとともに、
攻めの営業を徹底し、「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

「価値創造の3年」で取り組む課題

新たな 企業価値の創造

- お客さまの事業の成長や経営課題の解決をサポートします。
- ITの活用やチャネル・店舗ネットワークの充実により、お客さまの利便性を高めます。

人材育成の 一層の充実

- 高い専門性を持つ人材を育成します。
- 女性や中高年職員の活躍を推進するとともに外部人材の積極的登用を図ります。

持続可能な 経営態勢の構築

- 持続的な成長に向け、業務の生産性向上を図ります。
- リスク管理態勢やコンプライアンスを強化します。

「価値創造の3年」で到達すべき目標

連結当期純利益
500億円

連結ROE
6%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
9兆円程度

預金残高
11兆円程度

グループ預かり資産残高
2兆4千億円程度

2020年(6年後)に目指す姿

連結当期純利益
600億円

連結ROE
7%程度

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
10兆円程度

預金残高
12兆円程度

グループ預かり資産残高
3兆円程度

中期経営計画計数項目の進捗状況

(単位:億円)

目標とする指標	2014/3 【実績】	2015/3 【実績】	2014/3比		2017/3 【計画】	2020/3 【計画】
			進捗率	進捗率		
連結当期純利益	464	570	+105	114.0%	500	600
連結ROE	6.27%	7.07%	+0.79	—	6%台	7%程度
連結普通株式等Tier1比率	12.85%	13.17%	+0.31	—	13%台	13%台
貸出金残高	80,830	84,611	+3,781	41.2%	90,000	100,000
預金残高	101,218	107,333	+6,115	69.6%	110,000	120,000
グループ預かり資産残高	19,662	20,968	+1,306	30.1%	24,000	30,000

TOPICS

ダイバーシティの推進

当行は、多様な人材が互いの個性を生かしながらより創造的な組織となることを目指し、ダイバーシティへの取組みを推進してまいります。

ダイバーシティで 強く しなやかに

「ダイバーシティ行動宣言」を公表!

平成27年3月のちばぎんダイバーシティフォーラム*において「ダイバーシティ行動宣言」を公表しました。

※行内のダイバーシティ活動の更なる推進のため、役員、幹事店長、女性支店長、女性職員など総勢161名が参加し、開催されました。



「女性異業種交流会」を実施!

平成26年12月、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の女性職員との交流会を実施しました。当日は、「今後女性が

活躍するには何が必要か」をテーマに熱いグループ討議が行われました。

参加者の声

他社の人と意見や考え方を交換できて貴重な体験となりました。新たな気づきもありました。



「千葉工大ひまわり保育園」が開園!

平成27年3月、地元の千葉工業大学とともに設置の準備を進めていた「千葉工大ひまわり保育園」が同大学の津田沼キャンパス内に開園しました。同大学及び当行グループの職員の仕事と育児の両立を支援していきます。



「イクメン・イクママ カエルみえる化キャンペーン」を実施!

退行予定時間と退行理由を書いた手作りのボードをデスクに置き、職場全体で早期退行しやすい雰囲気づくりに努めています。また、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて業務の効率化にも積極的に取り組んでいます。



輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会

「地銀人材バンク」がスタート!

全国地方銀行協会に加盟する全64行の頭取が参加し発足した「輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会」(会長:千葉銀行 頭取 佐久間英利)において、地方銀行職員のキャリア継続を支援する「地銀人材バンク」※が創設されました。

※結婚や配偶者の転勤等の理由で転居により退職する場合に、本人に引き続き就労の希望があれば転居先近隣の地方銀行へ紹介を行うものです。採用の可否は紹介を受けた銀行が判断します。

お知らせ

昨年度はダイバーシティ推進に関連して、 様々な賞をいただきました!

平成26年10月 厚生労働省「イクメン企業アワード2014」(特別奨励賞)

平成27年 1月 日本金融通信社「ニッキン賞」

3月 NPO法人J-Win「2015 J-Winダイバーシティ・アワード」
(個人賞 経営者アワード)

3月 経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」

TOPICS

「地方創生」へ向けた取組み

当行は、地域のトップバンクとしてグループをあげて「地方創生」への取組みに積極的に参画してまいります。

「地方創生」 とは？

平成26年12月、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、今後、地方自治体（都道府県や市町村）は人口動態や地域特性を踏まえた「地方版総合戦略」の策定と地域社会の持続的な発展に向けての様々な施策の推進が求められます。「地方版総合戦略」は、産官学金労言*がそれぞれの知見を生かして連携しながら進めていく必要があります。

※産…産業界、官…政府や地方自治体、学…大学などの教育機関、金…金融機関、労…労働団体、言…マスコミ

『「地方創生」関連部会議』の設置

営業本部長を座長とし、本部関連7部の部長とグループのちばぎん総合研究所をメンバーとする組織を立ち上げ、各自自治体の「地方版総合戦略」への対応状況に関する情報共有・進捗管理・総合調整を行っていきます。

座長	取締役専務執行役員営業本部長
メンバー	地域情報部長、経営企画部長、法人営業部長、個人営業部長、営業支援部長、審査部長、企業サポート部長
シンクタンク	株式会社 ちばぎん総合研究所
活動内容	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への対応状況に関する情報共有・進捗管理・総合調整

千葉市との連携施策を紹介 国内初!

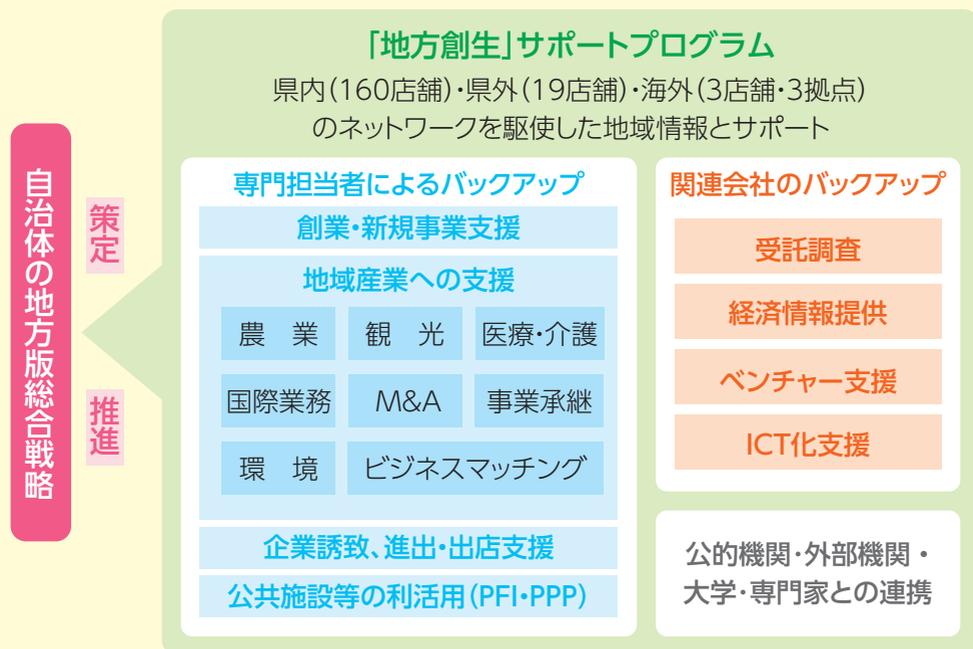
千葉市のプレミアム付き商品券の一部で当行の「ちばぎんスーパーカード(デビット)」を活用したスキームが採用されました。事前に所定の申込み手続きを済ませておくと、期間中、対象店舗での買い物にデビットカードを利用するだけで後日プレミアム分がキャッシュバックされる仕組みです。



『「地方創生」サポートプログラム』の策定

当行は千葉県及び県内54市町村のうち、44の自治体で指定金融機関となっています。「地方創生」で地域金融機関に期待される支援分野やサポート体制をまとめた『「地方創生」サポートプログラム』を策定し、各自治体へ配布しています。

「地方創生」サポートプログラムの概要



地域経済活性化に関する連携協定の締結

地元自治体や各種機関と地域経済活性化に向けた連携を進めています。

26年12月	南房総市
27年 2月	館山市、鴨川市、鋸南町
27年 4月	株式会社 地域経済活性化支援機構

※これまでに千葉市、君津市とも締結しています。



新商品・新サービスのご紹介

千葉銀行

ちばぎん耐震化促進融資

耐震診断や耐震改修を行う際にご利用いただける専用の融資制度です。



- ①耐震診断費用や補強工事、建て替え等の耐震化を図るうえで必要な資金に幅広く対応します。
- ②耐震改修を行う場合、建物の用途や築年数にかかわらず最長20年までのお借り入れが可能です。



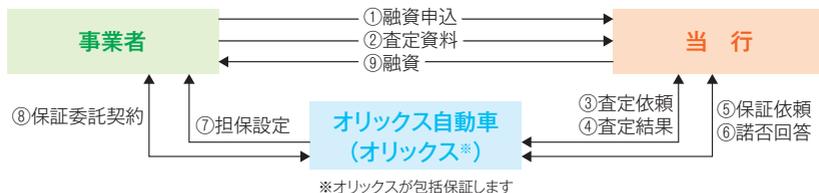
法人・
個人事業主の
お客さま

ちばぎん車両担保ABL制度

商用車(バス、トラック、バン、タンクローリー等)を担保としたABL(債権・動産担保融資)です。



- ①提携先のオリックス自動車株式会社が車両の評価、担保設定等を行います。
- ②最長7年までのお借り入れが可能です。
- ③運転資金、設備資金、既存債務の借り換えにご利用いただけます。



法人・
個人事業主の
お客さま

ちばぎんカードローン・フリーローン WEB完結サービス

当行に普通預金口座をお持ちのお客さまであれば、お申込みからご契約までの手続きがインターネット(WEB)上で完結するサービスです。



- ①契約書類のご記入、所得証明書・本人確認資料のご提出が不要です。
- ②来店・郵送手続きの必要がありません。
- ③最短で即日融資が可能です。

個人の
お客さま

ちばぎん証券

口座振替カンタンサポートサービス

ちばぎん証券で株式や投資信託を購入する際など、都度お客さまの依頼により千葉銀行の預金口座からちばぎん証券の証券口座へ資金移動を行うサービスです。

サービスのお問い合わせは、最寄りのちばぎん証券またはちばぎん証券コールセンター(0120-154-702)まで。

法人・個人のお客さま



ちばぎんコンピューターサービス

RFID債権書類棚卸システム

各種書類管理システムに対応した保管庫内での債権書類(重要書類)棚卸業務をサポートするシステムです。

ICタグを活用することで、棚卸の際、保管庫内の書類袋を動かさずに一括して読み込み、高速処理できるため作業時間の大幅な短縮が図れます。お問い合わせは、ちばぎんコンピューターサービス法人事業部(043-292-8882)まで。

書類を常時大量保管しているお客さま



お知らせ

ちばぎんアセットマネジメント

(一社)投資信託協会に入会し、投資信託委託業務を開始!

これからは、お客さまのニーズやマーケット環境にあった投資信託商品を開発することで、お客さまの資産形成のお手伝いをしてまいります。

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

第6回 エコノミクス甲子園千葉大会の開催

金融をもっと身近に!



平成26年12月、千葉興業銀行と全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を共催しました。

今大会は、千葉県内の高校から参加した24チーム48名が金融経済に関する筆記クイズや早押しクイズに挑み、渋谷教育学園幕張高等学校の斉藤瑠音さんと田嶋智さんのペアが見事優勝しました。同ペアは千葉県代表として全国大会に出場、健闘しました。



第5回 ちばぎんひまわり寄席の開催

笑いで地域を元気に!



平成27年4月、柳家さん喬師匠を招き、アミュゼ柏にて5回目となる「ちばぎんひまわり寄席」を開催しました。

当日は、人情噺から滑稽噺まで落語界随一といわれるネタの幅をもつ、さん喬師匠の円熟の技に会場は大変盛り上がりしました。



ひまわりベンチャー育成基金による助成

元気印企業を応援!



平成27年2月、ひまわりベンチャー育成基金をつうじて千葉県内のベンチャー企業3社に助成金を交付しました。この活動は平成10年より続けているもので、これまでの助成先は累計で171先、交付総額は519百万円となっています。



ミライ 新型燃料電池自動車「MIRAI」の導入

環境にやさしい
社会へ!



平成27年5月、新型燃料電池自動車「MIRAI」を導入しました。「MIRAI」は、水素を空気中の酸素と化学反応させて自ら発電して走る車で、走行中の二酸化炭素(CO₂)排出量がゼロであることから「究極のエコカー」と呼ばれています。また災害時には移動電源車としても活用できます。



おすすめ立ち寄りスポット

ちばぎんひまわりギャラリー

東京日本橋の「コレド室町3」の4階にある入場無料のアートスペース。当ギャラリーでは、有名作家による企画展や千葉にゆかりのある作家の公募展を開催しています。

開廊時間	10時～18時(最終入廊17時30分) ※個展の最終日は16時まで(最終入廊15時30分まで)
休廊日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/31～1/3)、入替日
入場料・ 使用料	無料
所在地	東京都中央区日本橋室町1-5-5 「コレド室町3」4階
最寄駅	JR総武本線 新日本橋駅(直結) 東京メトロ銀座線 三越前駅(直結)
お問い合わせ先	ちばぎんひまわりギャラリー TEL: 03-3270-8898

●個展のスケジュール

日程	個展名
6月30日(火)～7月12日(日)	岩崎 晃 展(表具経師)
7月14日(火)～7月26日(日)	東 素子 展(書)



ちばぎん金融資料室

創立70周年を記念して開設した、ちばぎんと千葉県の金融の歴史がわかる展示スペース。お金にまつわる豆知識を楽しみながら学べる体験型展示もご用意しています。入場は無料です。

オープン時間	10時～17時(最終入室16時30分)
休室日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/31～1/3)、その他臨時に休室することがあります。
入場料	無料
所在地	千葉市中央区富士見2-3-1(塚本大千葉ビル)2F
アクセス	JR千葉駅・京成千葉駅・ 千葉都市モノレール千葉駅より徒歩3分
お問い合わせ先	公益財団法人 ちばぎんみらい財団 TEL: 043-216-5204 http://www.chibagin-mirai.jp/



平成27年3月期は、連結経常利益が前期比60億円増加の842億円となりました。また、負ののれん発生益等の計上などにより、連結当期純利益は前期比105億円増加の570億円となりました。

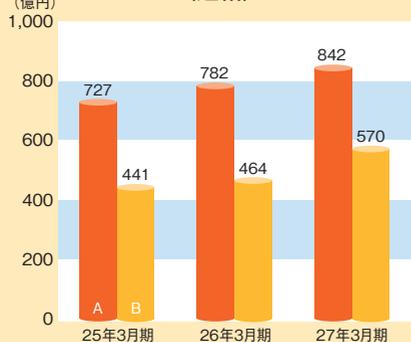
総自己資本比率は、連結で14.66%、単体で13.84%となりました。

貸出金は、前期末比3,781億円増加し8兆4,611億円となりました。そのうち、中小企業向け貸出が前期末比2,000億円増加、住宅ローンが1,346億円、海外向け貸出が466億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより前期末比6,115億円増加し10兆7,333億円となりました。

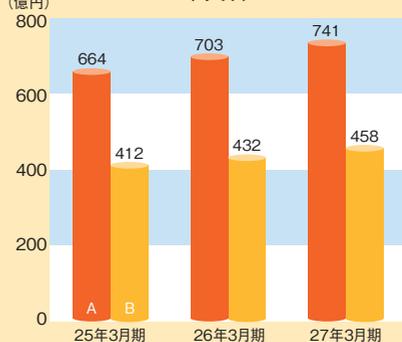
損益の状況

(億円) (連結)



A 経常利益 B 当期純利益

(億円) (単体)



A 経常利益 B 当期純利益

自己資本比率 (パーセルⅢ) の状況

(%) (連結)



A 総自己資本比率 B 普通株式等Tier1比率

(%) (単体)



A 総自己資本比率 B 普通株式等Tier1比率

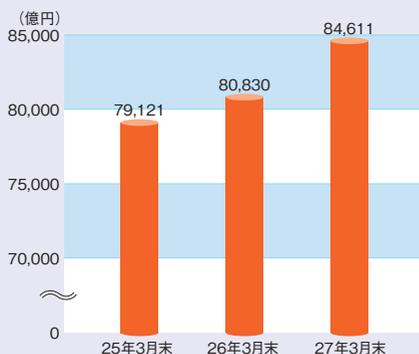
バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合(最低水準)以上持つように義務づけています。

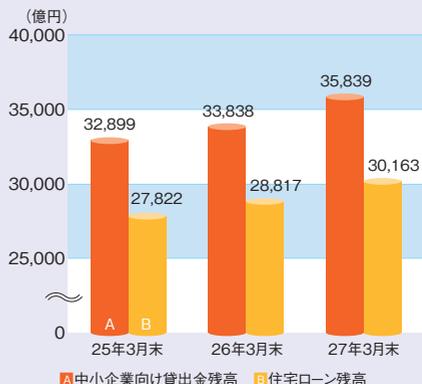
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められました。

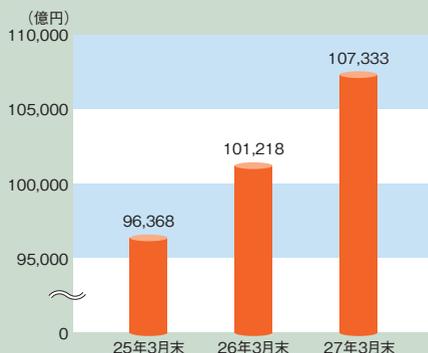
貸出金の状況



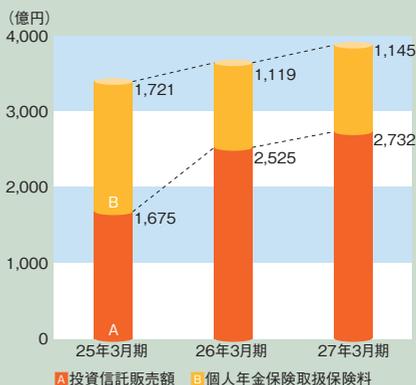
中小企業向け貸出金・住宅ローンの状況



預金の状況



投資型金融商品の状況

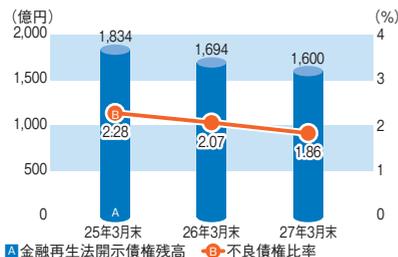


当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、引き続き「お客さま第一主義」を徹底し、新規のお借入れやお借入れ条件の変更等のご相談に真摯に対応していくとともに、お客さまのニーズに応じた積極的なソリューションの提供により、地域における金融円滑化への取組みを一層強化してまいります。

金融再生法開示債権の状況

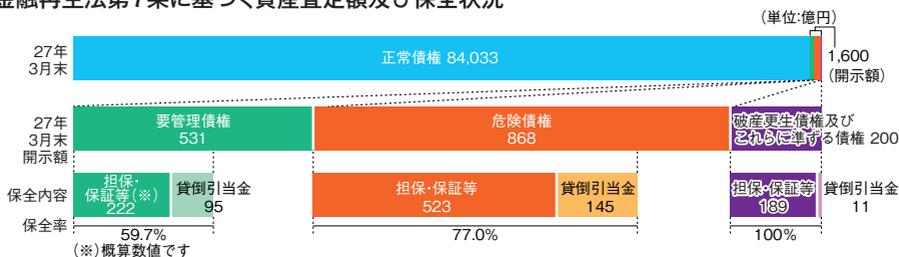
不良債権の推移



平成27年3月末時点の金融再生法開示債権残高は、1,600億円となりました。また、不良債権比率は1.86%となっています。

引続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会などの外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

株式の所有者別状況

平成27年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)
政府・地方公共団体	2	9	0.00
金融機関	104	363,099	41.67
金融商品取引業者	29	16,488	1.89
その他の法人	1,164	123,690	14.20
外国法人等	500	222,802	25.57
個人その他	21,812	145,161	16.67
計	23,611	871,249	100.00

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,272,087株となっております。
 2. 自己株式42,738,186株は「個人その他」に42,738単元、単元未満株式に186株含まれております。なお、自己株式42,738,186株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は42,737,186株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

■事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会

毎年6月

■基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

■公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成27年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式 数の割合(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	38,187	4.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,414	4.04
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	34,837	3.97
日本生命保険相互会社	26,870	3.06
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	26,537	3.03
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
明治安田生命保険相互会社	18,291	2.08
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	14,260	1.62
千葉銀行職員持株会	11,657	1.33

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式42,737千株(4.88%)がありません(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

■株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)
以上保有の株主

■株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から千葉県の特産品等または当行及びちばぎんグループの金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポンのいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当または 株主優待クーポン1枚	千葉県の特産品等 6,000円相当または 株主優待クーポン2枚

- *金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
 3. 遺言信託引受承諾手数料20%割引
 4. ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
 5. ちばぎん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

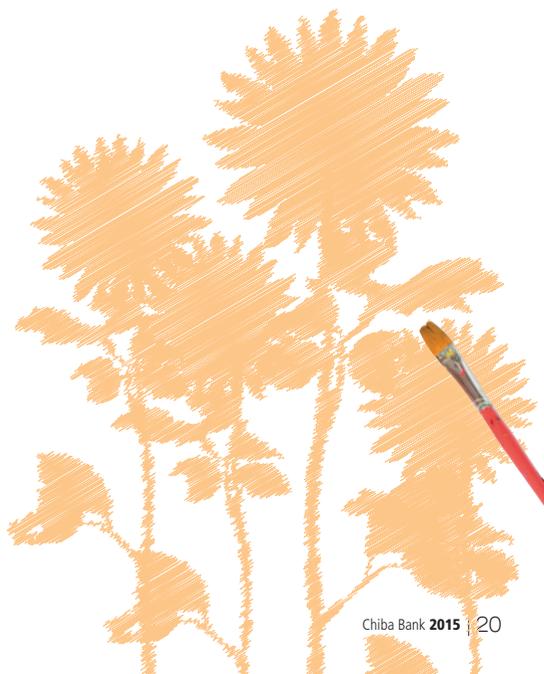
■ 連結貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成26年3月末	平成27年3月末
(資産の部)		
現金預け金	749,388	1,227,256
コールローン及び買入手形	399,772	316,924
買現先勘定	34,995	14,996
債券貸借取引支払保証金	2,043	2,091
買入金銭債権	24,453	22,624
特定取引資産	275,939	271,774
金銭の信託	43,794	44,450
有価証券	2,180,202	2,362,229
貸出金	8,061,697	8,438,684
外国為替	6,248	8,080
その他資産	87,594	95,225
有形固定資産	102,786	102,423
無形固定資産	10,987	11,091
退職給付に係る資産	5,218	7,569
繰延税金資産	6,779	6,082
支払承諾見返	81,866	82,896
貸倒引当金	△ 50,142	△ 44,960
資産の部合計	12,023,627	12,969,442

科 目	平成26年3月末	平成27年3月末
(負債の部)		
預金	10,111,879	10,722,619
譲渡性預金	383,960	495,494
コールマネー及び売渡手形	103,949	39,878
債券貸借取引受入担保金	83,248	154,368
特定取引負債	24,074	20,788
借入金	291,989	308,712
外国為替	930	767
社債	10,000	76,020
その他負債	128,806	143,989
退職給付に係る負債	18,324	20,091
役員退職慰労引当金	217	185
睡眠預金払戻損失引当金	2,035	2,093
ポイント引当金	412	442
特別法上の引当金	22	27
繰延税金負債	2,565	30,576
再評価に係る繰延税金負債	13,157	11,742
支払承諾	81,866	82,896
負債の部合計	11,257,439	12,110,695
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
利益剰余金	437,645	480,803
自己株式	△ 17,581	△ 27,532
株主資本合計	687,267	720,474
その他有価証券評価差額金	59,757	121,264
繰延ヘッジ損益	23	414
土地再評価差額金	9,834	10,663
退職給付に係る調整累計額	866	5,484
その他の包括利益累計額合計	70,482	137,826
新株予約権	374	446
少数株主持分	8,064	-
純資産の部合計	766,187	858,747
負債及び純資産の部合計	12,023,627	12,969,442

■ 連結損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで)	(平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで)
	平成26年3月期	平成27年3月期
経常収益	217,995	224,266
資金運用収益	137,503	136,601
信託報酬	2	3
役務取引等収益	46,156	48,022
特定取引収益	3,196	4,271
その他業務収益	5,941	4,248
その他経常収益	25,195	31,117
経常費用	139,794	140,021
資金調達費用	11,052	11,865
役務取引等費用	15,945	16,544
その他業務費用	3,228	424
営業経費	88,775	89,039
その他経常費用	20,792	22,147
経常利益	78,201	84,244
特別利益	0	5,128
固定資産処分益	0	1
負ののれん発生益	-	5,127
特別損失	980	1,140
固定資産処分損	730	423
減損損失	250	717
税金等調整前当期純利益	77,220	88,232
法人税、住民税及び事業税	26,834	26,653
法人税等調整額	3,003	4,545
法人税等合計	29,837	31,199
少数株主損益調整前当期純利益	47,382	57,033
少数株主利益	944	-
当期純利益	46,438	57,033



■ 貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成26年3月末	平成27年3月末
(資産の部)		
現金預け金	748,133	1,224,180
コールローン	399,772	316,924
買現先勘定	34,995	14,996
債券貸借取引支払保証金	2,043	2,091
買入金銭債権	14,346	13,130
特定取引資産	273,668	271,195
金銭の信託	38,594	38,450
有価証券	2,178,930	2,355,778
貸出金	8,083,049	8,461,180
外国為替	6,248	8,080
その他資産	36,631	44,029
有形固定資産	97,580	97,250
無形固定資産	10,831	10,952
前払年金費用	4,908	-
支払承諾見返	63,772	66,864
貸倒引当金	△ 39,354	△ 35,062
資産の部合計	11,954,152	12,890,041

科 目	平成26年3月末	平成27年3月末
(負債の部)		
預金	10,121,889	10,733,396
譲渡性預金	419,360	534,094
コールマネー	103,949	39,878
債券貸借取引受入担保金	83,248	154,368
特定取引負債	24,074	20,788
借入金	290,790	307,655
外国為替	930	767
社債	10,000	76,020
その他負債	82,103	95,014
退職給付引当金	18,778	19,991
睡眠預金払戻損失引当金	2,035	2,093
ポイント引当金	158	176
繰延税金負債	271	25,536
再評価に係る繰延税金負債	13,157	11,742
支払承諾	63,772	66,864
負債の部合計	11,234,519	12,088,390
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
資本準備金	122,134	122,134
利益剰余金	404,144	436,076
利益準備金	50,930	50,930
その他利益剰余金	353,214	385,146
固定資産圧縮積立金	33	35
別途積立金	305,971	335,971
繰越利益剰余金	47,209	49,139
自己株式	△ 17,581	△ 27,532
株主資本合計	653,766	675,747
その他有価証券評価差額金	55,633	114,380
繰延ヘッジ損益	23	414
土地再評価差額金	9,834	10,663
評価・換算差額等合計	65,491	125,457
新株予約権	374	446
純資産の部合計	719,632	801,651
負債及び純資産の部合計	11,954,152	12,890,041

■ 損益計算書(要約版) (単位:百万円)

(平成25年4月 1日から
平成26年3月31日まで) (平成26年4月 1日から
平成27年3月31日まで)

科 目	平成26年3月期	平成27年3月期
経常収益	193,319	197,003
資金運用収益	137,698	137,880
信託報酬	2	3
役務取引等収益	36,030	38,135
特定取引収益	1,947	2,652
その他業務収益	5,932	4,231
その他経常収益	11,707	14,099
経常費用	122,947	122,824
資金調達費用	11,047	11,847
役務取引等費用	18,192	18,908
その他業務費用	3,228	424
営業経費	83,309	83,370
その他経常費用	7,169	8,273
経常利益	70,372	74,178
特別利益	0	1
固定資産処分益	0	1
特別損失	967	1,136
固定資産処分損	722	420
減損損失	245	716
税引前当期純利益	69,404	73,043
法人税、住民税及び事業税	23,731	23,232
法人税等調整額	2,465	4,003
法人税等合計	26,197	27,235
当期純利益	43,206	45,807





コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	4か所(千葉・柏・船橋・市川)
ローンプラザ	3か所(千葉中央・柏・船橋)

店舗数

県内	160店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所14店舗、仮想店舗3店舗)
県外	19店舗(東京都12店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	3か所(上海、シンガポール、バンコク)
両替出張所	3か所

自店舗外現金自動設備	272か所(うち、県内270か所)
コンビニATM「E-net」	13,107か所(うち、県内688か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	19,355か所(うち、県内1,090か所)
ローソンとの提携によるATM	10,780か所(うち、県内402か所)

平成27年3月31日現在

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111(代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成27年6月発行

